

# サーバーワークス、ITエンジニアの出社とリモート、ハイブリッドワークに関する調査結果を公表

理想の働き方で最も多いのは「自分で自由に選べるハイブリッド」

アマゾン ウェブ サービス（以下：AWS）の AWS プレミアティアサービスパートナーである株式会社サーバーワークス（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：大石 良、以下：サーバーワークス）は、ITエンジニアの出社とリモート、ハイブリッドワークに関する調査結果を公表しましたのでお知らせいたします。



サーバーワークスは、エンジニアを中心として働き方に関する様々な調査を実施し、新しい時代の働きやすさについて考察していく「働き方ラボ」を立ち上げています。今回の調査結果は、全国に住む20歳以上の企業に勤めるITエンジニア297名を対象に実施した調査をまとめたものです。

▷これまでの「働き方ラボ」での調査はこちら

働き方ラボ

## ■調査のポイント

- 出社とリモートワークでコードを書く際の集中力に違いがあると感じるかたずねたところ、「出社の方が集中できる」は36%、「リモートワークの方が集中できる」は39.1%
- 技術的な相談に最も適していると思う手段は「Web会議」が最も多く35.7%、「テキストでのチャット」34.0%、「対面での会話、会議」30.3%とそれぞれ約3割
- 84.8%の人が、業務によって出社がいい場合とリモートがいい場合があると思うと回答
- 出社とリモートワーク、どちらかしか選べないとしたら、リモートワークが50.2%、出社が41.8%
- 一番理想的な勤務形態は「自分で自由に選べるハイブリッド」が31.0%。「会社に出社日数が決められたハイブリッド（20.2%）」をあわせると、半数以上の51.2%とがハイブリッドを希望

## ■調査概要

方法：インターネット調査（Fastask を利用）

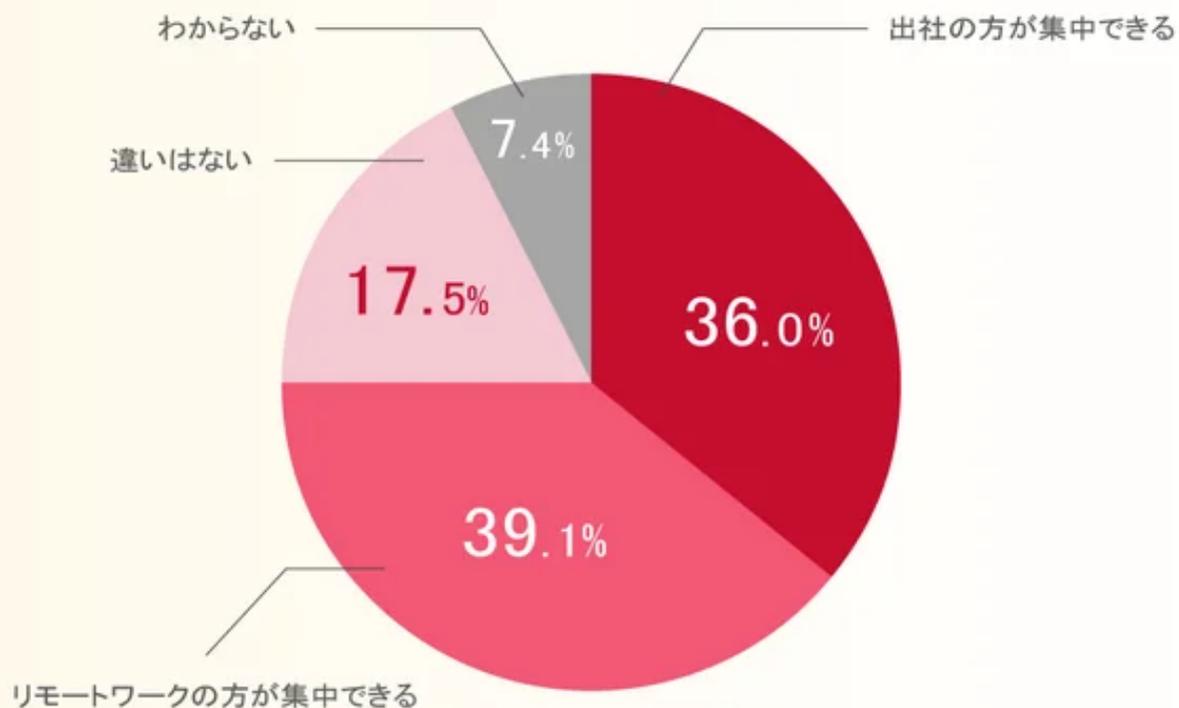
期間：2025年8月1日～8月7日

対象：全国に住む20歳以上の企業に勤めるITエンジニア297名

## ■調査結果

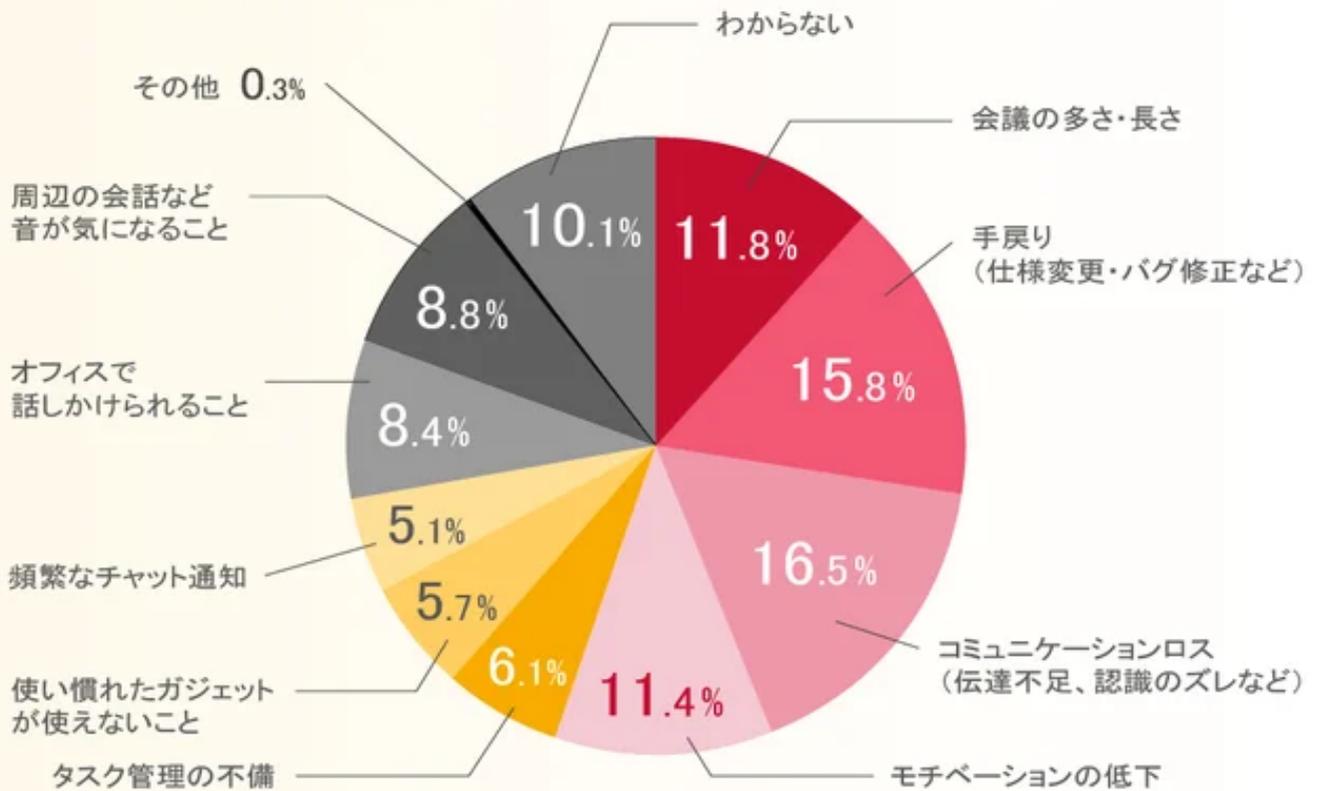
出社とリモートワークで、コードを書く際の集中力に違いがあると感じるかたずねたところ、「出社の方が集中できる」と回答したのは36%、「リモートワークの方が集中できる」は39.1%と、ややリモートワークのほうが多いものの、拮抗する結果となりました。「違いはない」との回答は17.5%でした。

## 出社とリモートワークで、コードを書く際の集中力に違いがあると感じますか？



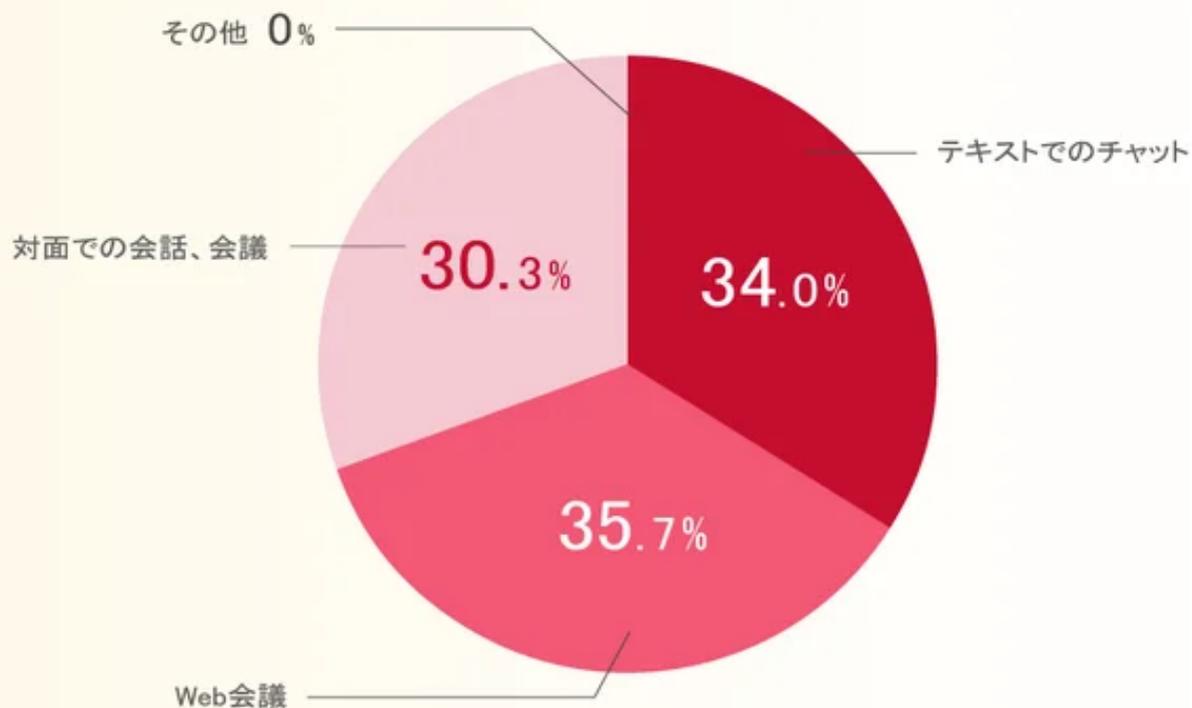
ITエンジニアの生産性を最も下げる要因で最もあてはまるものを選択してもらったところ、「コミュニケーションロス（伝達不足、認識のズレなど）」が16.5%で最も多く、続いて「手戻り（仕様変更・バグ修正など）」が15.8%でした。「会議の多さ・長さ（11.8%）」や「モチベーションの低下（11.4%）」が続きました。

ITエンジニアの生産性を最も下げる要因は何だと思いますか？  
最もあてはまるものを選択してください。



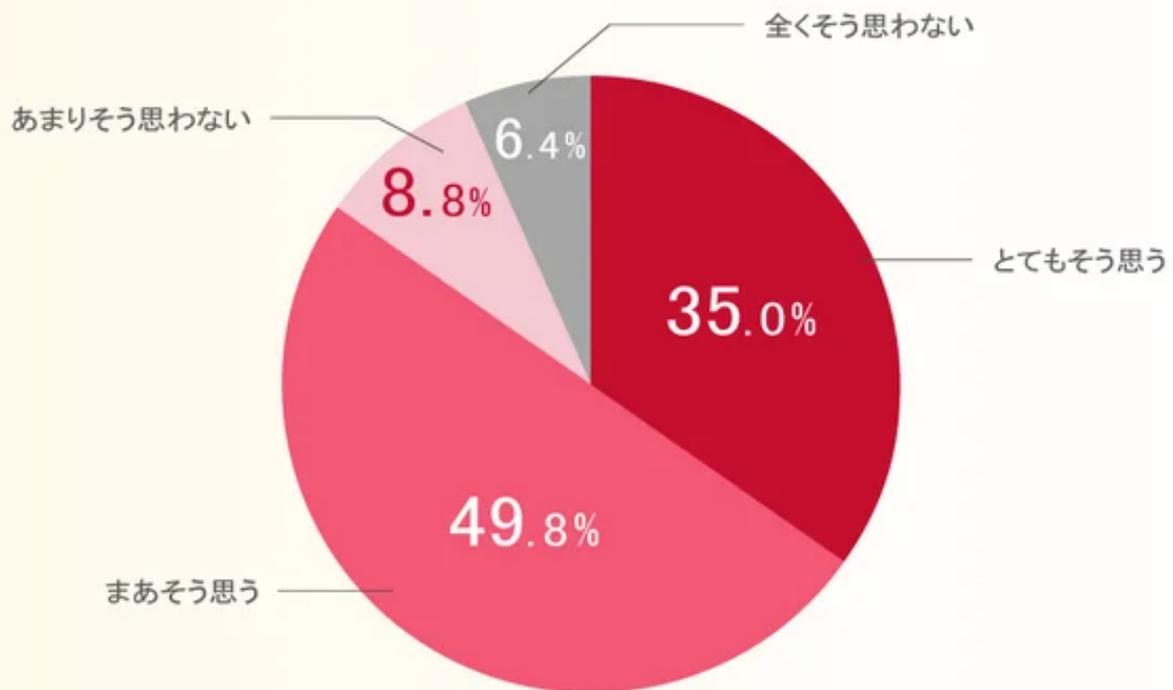
技術的な相談に最も適していると思う手段についてたずねたところ、「Web 会議」が最も多く 35.7%、「テキストでのチャット」が 34.0%でしたが、「対面での会話、会議」も 30.3%と、それぞれ 3割ほどの結果となり、人によって適していると思う手段が異なることがわかりました。

## 技術的な相談に最も適していると思う手段を教えてください



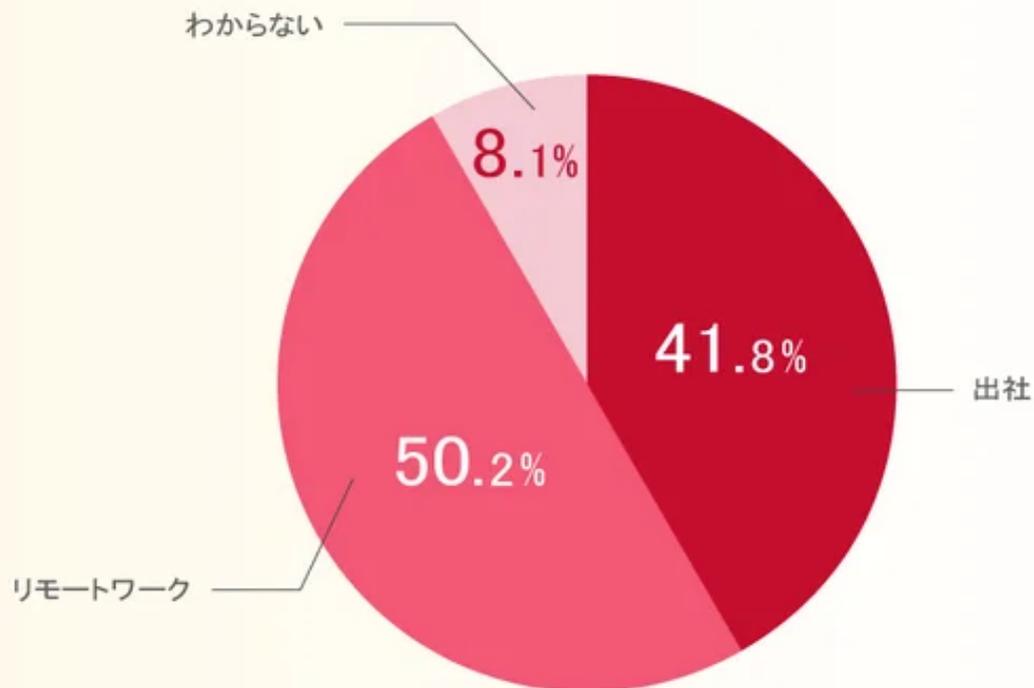
業務によって、出社がいい場合とリモートがいい場合があると思うかたずねたところ、「とても思う」と「まあ思う」をあわせて84.8%の人が、「そう思う」と回答しました。

業務によって、出社がいい場合と  
リモートがいい場合があると思いますか？



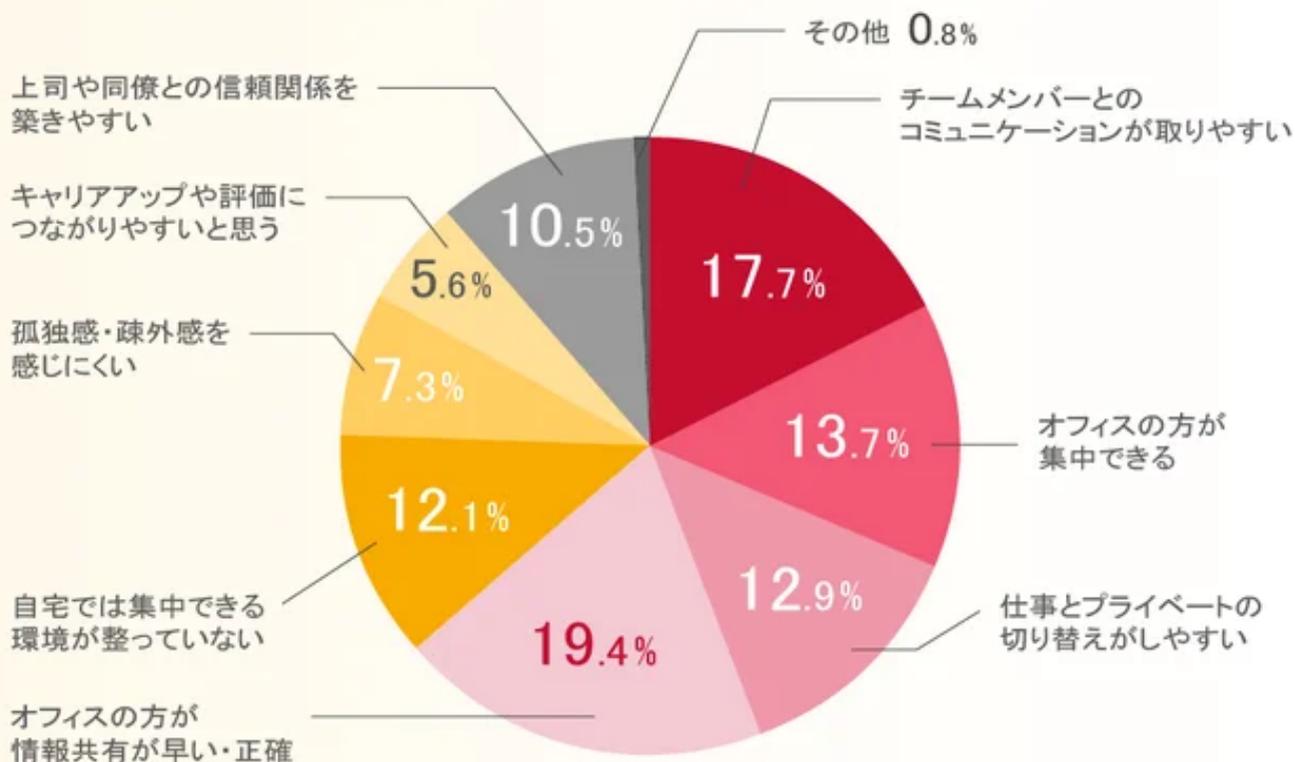
出社とリモートワーク、どちらかしか選べないとしたらどちらを選ぶかたずねたところ、リモートワークが50.2%と、リモートワークを選ぶ人が多かったものの、出社を選ぶ人も41.8%いました。

出社とリモートワーク、どちらかしか選べないとしたら、  
どちらを選びますか？

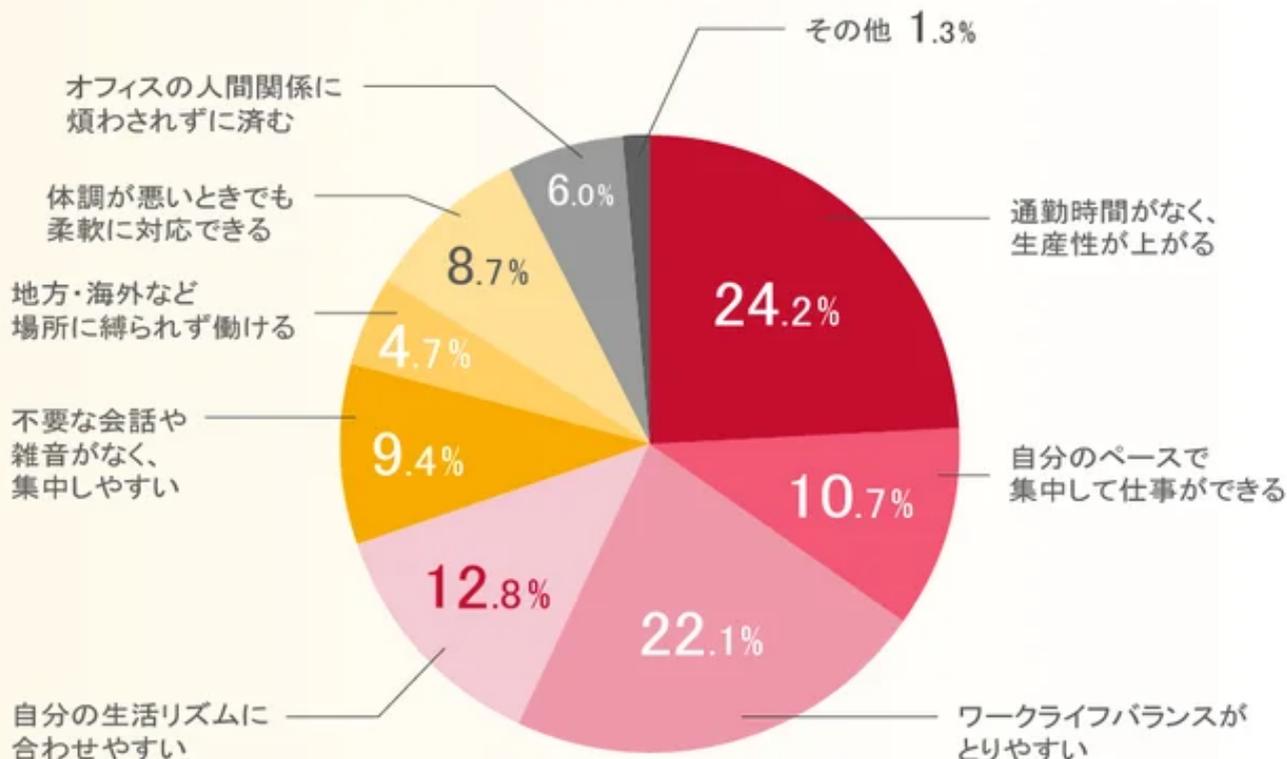


出社を選ぶ理由として最も多かったのは、「オフィスの方が情報共有が早い・正確」で19.4%、続いて「チームメンバーとのコミュニケーションが取りやすい」が17.7%でした。一方、リモートワークを選ぶ理由として最も多かったのは「通勤時間がなく、生産性が上がる」の24.2%でした。次に「ワークライフバランスがとりやすい」の22.1%でした。

なぜ出社を選びますか？  
最もあてはまるものを選択してください。

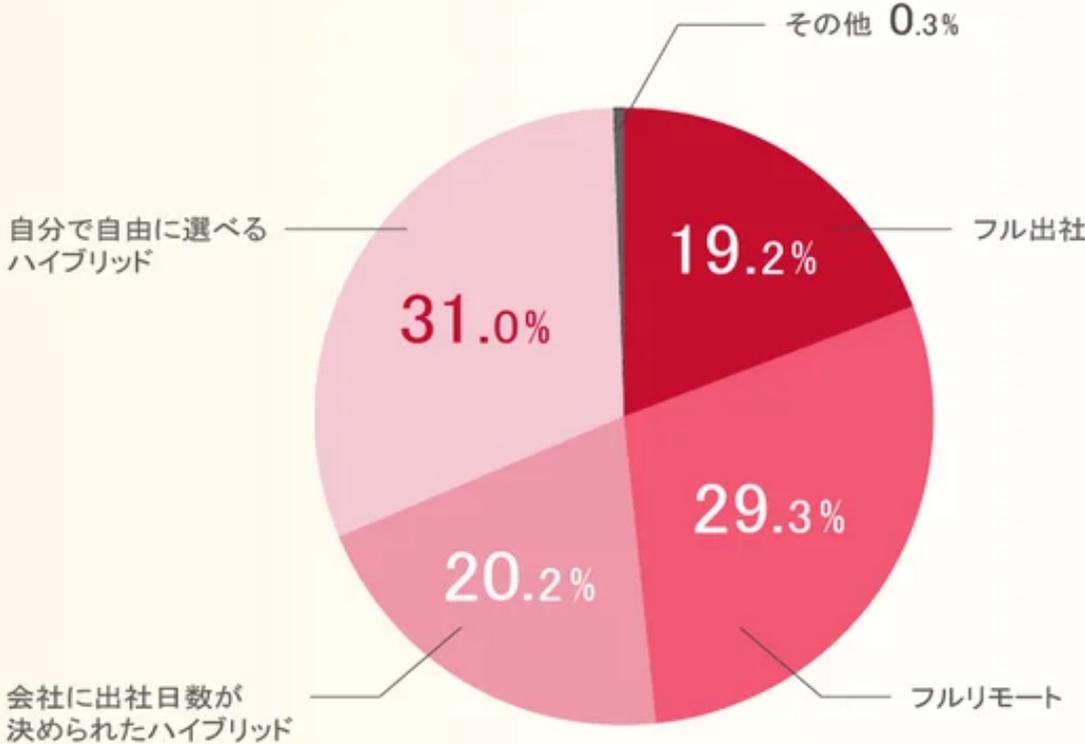


なぜリモートワークを選びますか？  
最もあてはまるものを選択してください。



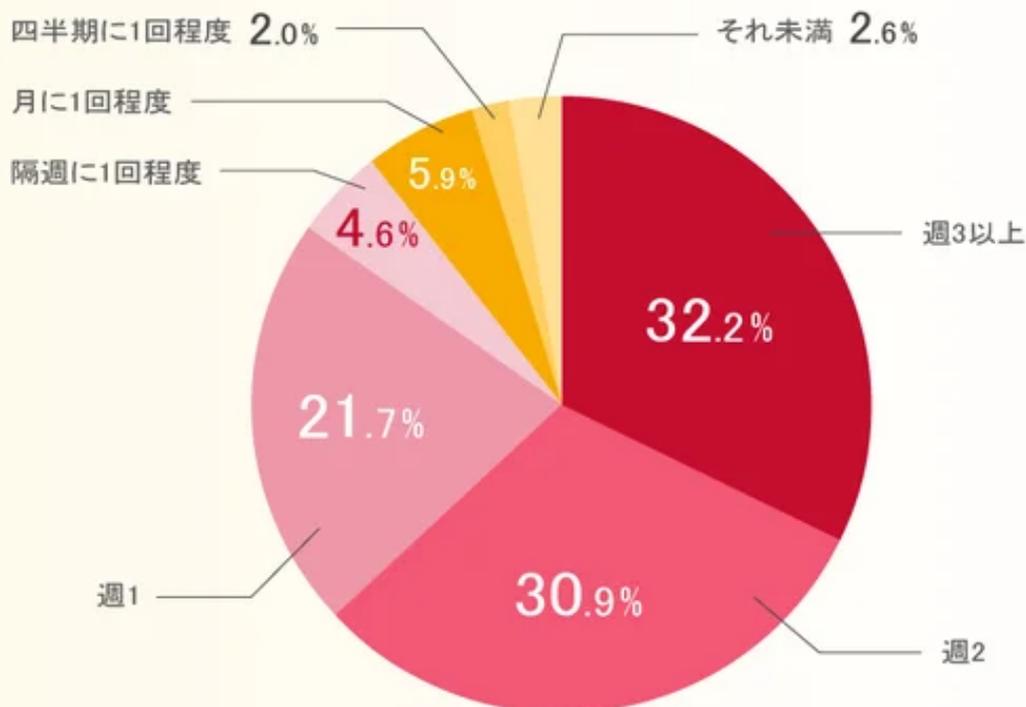
一番理想的な勤務形態をたずねたところ、「自分で自由に選べるハイブリッド」が31.0%と最も多く、次に「フルリモート」の29.3%でした。「自分で自由に選べるハイブリッド（31.0%）」と「会社に出社日数が決められたハイブリッド（20.2%）」をあわせると、51.2%と半数以上がハイブリッドを希望していることがわかりました。

### 一番理想的な勤務形態はどれですか？



ハイブリッドを希望した人にどのくらいの頻度で出社したいかたずねたところ、「週3以上」が32.2%で最も多く、次は「週2」の30.9%、続いて「週1」の21.7%でした。

## どのくらいの頻度で出社したいですか？



### ■サーバーワークスの働き方について

今回の調査では、多くのITエンジニアが「自分で自由に選べる」ハイブリッドワークを理想としていることが明らかになりました。サーバーワークスでは、この「選択肢があること」を働き方の前提とし、会社としてのパフォーマンスを最大化するため、社員が自身の能力を最も発揮できる方法を自ら選択することを重視しています。これは、当社が掲げるビジョン「クラウドで、世界を、もっと、はたらくやすく」を、まず私たち自身が体現しようとする取り組みです。

その思想を具現化したのが、社員自らが「はたらく場所」「はたらく道具」「はたらく時間」を選択する「クラウドワークスタイル」です。全国どこでも居住・就業可能な制度や、生産性を高めるための「ワークスタイル手当」の支給（場所）、使い慣れたデバイスで業務を行う「BYOD制度」（道具）、そして成果で評価することを徹底した「裁量労働制」（時間）など、多様な制度で社員一人ひとりの価値最大化を支援しています。

クラウドワークスタイルについて：<https://www.serverworks.co.jp/recruit/workstyle/>

サーバーワークスはこれからも、自らが実践者として働きやすい環境を追求し、その知見を社会に還元するとともに、そこで生み出される高いパフォーマンスを以てお客様により高品質な価値を提供してまいります。

## ■株式会社サーバーワークスについて

サーバーワークスは、「クラウドで、世界を、もっと、はたらきやすく」をビジョンに掲げ、2008年よりクラウドの導入から最適化までを支援しているAWS専門のクラウドインテグレーターです。2025年8月末現在、1,480社、27,100プロジェクトを超えるAWS導入実績を誇っており、2014年11月よりAWSパートナーネットワーク（APN）最上位の「AWSプレミアティアサービスパートナー」に継続して認定されています。移行や運用、デジタルワークスペース、コンタクトセンターなど多岐にわたって認定を取得し、AWS事業を継続的に拡大させています。

取得認定、実績についての詳細はこちらをご覧ください：

<https://partners.amazonaws.com/jp/partners/001E000000NaBHzIAN/>

\*本リリースに記載された会社名、サービス名等は該当する各社の登録商標です。

\*本リリースの情報は発表日現在のものです。最新の情報とは異なる場合がありますのでご了承ください。

---

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000141.000075977.html>

株式会社サーバーワークスのプレスリリース一覧

[https://prtimes.jp/main/html/searchr/p/company\\_id/75977](https://prtimes.jp/main/html/searchr/p/company_id/75977)

---

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社サーバーワークス

社長室 広報

担当：鈴木、田上

TEL：03-5579-8029

E-mail：pr@serverworks.co.jp